

I-12. 環境研究・技術開発の推進戦略フォローアップ調査及び追跡評価

Follow-up Study of “Environmental Research and Technology Development Strategy” and Research Evaluation

 キーワード	環境研究、研究開発評価
Key Word	Environmental research, R&D Strategy, Research Evaluation

1. 調査の目的

我が国の環境研究・環境技術開発は、環境省の「環境研究・環境技術開発の推進戦略について(平成27年8月中央環境審議会答申)」に基づき、推進している。推進戦略では、環境分野の政策動向や社会の状況等を踏まえ、長期(2050年頃)及び中期(2025～2030年頃)の目指すべき社会を想定した上で、環境分野において今後5年間で重点的に取り組むべき研究・技術開発の課題を設定し、統合領域、低炭素領域、資源循環領域、自然共生領域、安全確保領域の研究・技術開発を推進と、効果的な実施に向けた推進方策を提示している。本調査は、推進戦略に基づき、平成27、28年度の研究・技術開発の実施状況のフォローアップと、平成29年度以降に実施するフォローアップ方針及び基礎資料の作成を行った。

また、環境省の「環境省研究開発評価指針」に基づき、環境省が実施している競争的資金制度(環境研究総合推進費、地球温暖化対策技術開発・実証研究事業)を対象に、追跡評価を実施した。

(フォローアップ調査)

平成28年度に実施する本調査では、推進戦略のうち、統合領域の一部(持続可能な社会関連、技術シーズ関連)、低炭素領域、自然共生領域を対象に、フォローアップを実施するとともに、平成29年度以降に実施するフォローアップ方法の検討・提案として、統合領域一部、資源循環領域、安全確保領域を対象に、社会経済動向、研究・技術開発実施状況等の基礎資料を作成した。これらの検討にあたっては、有識者からなるフォローアップ検討会を開催し、推進戦略に基づく関連研究・技術開発の採択状況の有無、研究実施・展開状況、研究成果の達成及び社会実装等に着目した評価を実施し、とりまとめを行った。

(追跡評価)

本調査では、前述のフォローアップ調査とともに、環境省が実施してきた環境研究総合推進費、地球温暖化対策技術開発・実証研究事業の二つの競争的資金制度を対象とした追跡評価を実施した。本調査では、平成25年度に終了した研究開発課題を対象に実施し、各研究開発課題終了後の成果の活用状況や展開状況、研究開発マネジメントに関する課題等について、被評価者の自己点検(アンケート調査)および被評価者へのインタビュー(個別調査)を行った。これらの結果は、有識者で構成する追跡評価委員会で検討し、評価を行った。

2. 調査研究成果概要

(1) 調査の構造

本調査研究は、環境研究・技術開発に関するフォローアップ調査と、追跡評価の二つの調査からなる。フォローアップ調査は、推進戦略で掲げられた研究・技術開発領域のうち、統合領域一部、低炭素領域、自然共生領域を対象に研究・技術開発課題の実施状況を評価するため、基礎情報(研究・技術開発課題データベース、重点課題別個票等)を作成し、フォローアップ検討会にて評価を実施した。また、追跡評価では、被評価者を対象とした追跡評価アンケート、アンケート結果を踏まえた深堀調査としての個別調査(ヒアリング)を実施し、追跡評価委員会での全体評価を実施した。

(2) 調査の内容

① 環境分野にかかる各府省庁研究開発施策及び研究開発課題(個票作成)

推進戦略の重点課題に該当する、わが国で実施されている環境分野の研究・技術開発課題について情報を収集し、整理した。情報収集対象となる制度・事業名は、平成 27、28 年度に新規採択課題が見られる、7 つの府省庁及び 3 つの機構等から 42 の事業等を対象とした。これらの新規採択課題データベースから、重点課題別の研究・技術開発課題個票を作成した。個票の構成は、下記のとおりであるが、本調査より、社会動向・政府戦略・計画等の項目で推進戦略の改定に資する情報を、また環境省の行政ニーズを付記した。

表 1 研究・技術開発個票の構成

項目	内容
研究・技術開発の実施状況	研究・技術開発の実施概況として、平成 27、28 年度の採択課題リストを作成し、重点課題別の採択課題の抽出・分類を実施した(重要な課題、特徴的な課題、予算配分が大きい課題等を具体的に例示)。
関連する社会動向	重点課題別に関連する社会的動向を国内動向、国際動向に区分し、さらに、それぞれについて環境省に関連する動向及び環境省以外の外部動向に分けて記載した。重点課題に関する社会的要請や、規制、取組枠組、施策動向は、(国研)国立環境研究所が運営する環境展望台(http://tenbou.nies.go.jp/)等を参照し、データリストを作成した。政府戦略・計画等は、主に平成 27 年度から現在に至る、研究・技術開発に関わる政府戦略・計画等を重点課題別に記載した。上記を踏まえ、推進戦略の改定に考慮されるべき内容を付記した。
行政ニーズ	環境研究・技術開発を推進する上での行政からの新規研究・技術開発課題に対するニーズと、そのニーズに合致したとされる採択課題を記載した。
推進戦略の進捗状況／進捗状況の評価	フォローアップに係る部分として、平成 27 年度から現在に至る、重要課題別に、研究・技術開発の実施状況、社会実装・国際連携等の状況を記載した。 ・実施状況の概要:採択課題の研究予算規模(公募時の予算)、採択課題数 ・社会実装・国際連携:国際的な連携の枠組みで行われている研究課題。
今後に向けて	今後、さらに取り組むべき分野等、社会的動向を踏まえた問題点・対応方針について、とりまとめた。

② 追跡評価

追跡評価では、環境省の競争的資金制度により実施した平成 25 年度の終了課題(環境研究総合推進費<97 課題>、地球温暖化対策技術開発・実証研究事業<15 課題>)について、追跡アンケート調査および個別調査(インタビュー)を実施し、追跡評価委員会にて調査結果をもとに検討を行い、評価をとりまとめた。また、現行の競争的資金制度の改善に向けた情報収集として、平成 27 年度終了課題の研究代表者等にアンケート(制度アンケート調査)を実施した。調査項目は、下記のとおりである。

- 追跡評価アンケート調査(平成 25 年度に研究開発を終了した研究代表者向け調査)
- 制度アンケート調査(平成 27 年度に研究開発を終了した研究代表者等に向けた調査)
- 個別調査(追跡評価アンケート調査結果を踏まえ、事後評価が高く、成果の展開がみられる 7 例)
- 追跡評価(追跡評価委員会による追跡評価結果を踏まえた資金制度の運営改善等)

また、追跡アンケート結果について、過去 3 年間の終了課題別の成果の展開率を分析するとともに、事後評価別の成果の展開率等の把握を行った。